

年3月には業務代行者として決定した大和ハウス工業(株)と事業推進に関する覚書を締結するなど、事業認可にむけた取り組みを進めている。

(企業立地推進室長)

○公園維持管理について

Q さくらの森パーク(管理 建設課)、さくらの丘公園(管理 生涯学習課) 共に雑草が伸びているが。

A 公園、施設の管理等については、縦割りではなく横の連携がとれる施設管理を抜本的に検討して行く。(町長)

議席4番

櫻井 実 議員



○心配いと相談所について

Q 相談はどのように実施しているか。

A 毎週火曜日午後一時より幅広い年齢層の方から、年間約15件の様々な相談が寄せられている。相

談内容によっては、専門機関を紹介している。土日の相談日の開催についても検討したい。

(参事兼介護福祉課長)

Q 電話による相談は、どのように実施しているか。

A 足を運ばれてくる方の相談がほとんどである。電話での相談も今年度1回実施している。

(参事兼介護福祉課長)

○防災・減災対策について

Q 災害の類型によっては、自治体への避難が求められるがどのように対策を講じているか。

A 町内の各小中学校、文化村、勤労青少年ホーム等を避難所に指定している。利根川が決壊すると町内の避難所では足りないことから町外避難所として坂東総合高校と協定を締結し、現在、総和工業高校を町外避難所として指定できるように準備を進めている。さらに本年12月の広域避難計画の策定完了を待って、避難所確保や対策を進める。

(参事兼防災安全課長)

Q 避難所となる体育館等施設の冷暖房化をどのように考えているか。

A 勤労青少年ホームの体育館は冷暖房完備している。また各小中学校の教室にも、すでに整備されており、これを活用したい。財政的な問題もあり、体育館の冷暖房化の予定はない。

(参事兼防災安全課長)

議席10番

田山 文雄 議員



○防災対策の取り組みについて

Q 関東・東北豪雨災害から一年になるが、当町における現状と今後の取り組み、また、被災者台帳「被災者支援システム」、「災害支援タスクフォース」の当町における考えについて。

A 豪雨災害の教訓を活かし、ハザードマップの改正を行うと共に、広域避難所計画の策定や町広域排水計画の策定を進めている。県と連携を図りながら対応していきたい。

(参事兼防災安全課長)

○夜間中学校の設置促進に関する取り組みについて

Q 学校の教育的配慮によって卒業した、形式卒業者等に学び直す機会の提供が求められ、取り組みとして夜間中学校の設置があるが、当町の考えについて。

A 当町においては、夜間中学校ではなく、住民ボランティア等有志が中心となって、生涯学習施設を利用して広く学習の機会や場を提供したいと考えている。

(学校教育課長)

議席2番

青木 輝明 議員



○サッカー場の施設について

Q 町のサッカー場は、人口芝を含む近代的な施設であり、多くの方々が利用されています。町としても、環境整備に細心の注意を払い管理運営に取り組んでいると思います。

改修後の利用状況についてお伺いします。